

田辺市 内水ハザードマップ

- このマップは、水防法に基づき、都市下水路集水区域を対象とした想定最大規模降雨時における浸水シミュレーションの結果を踏まえて作成した「田辺市内水ハザードマップ」です。浸水の状況および避難所等の関連情報を掲載しています。
- 市民のみなさんが、日ごろから内水による浸水に備えられるよう、避難所等や危険箇所、防災関連施設等を確認できるように作成したものです。ご家庭や地域での話し合いに使えるよう、身近なところに保管して、いざという時に備えてください。

我が家の防災メモ

● 家族の集合場所

家族の避難所	指定避難所・指定緊急避難場所	連絡方法

● 家族の連絡先及び医療情報

氏名	続柄	電話番号 (自宅・携帯)	電話番号 (会社・学校)	生年月日	血液型	医療情報 (持病・アレルギー・常備薬)

● 親戚・知人

氏名	続柄	電話番号

● かかりつけ医療機関

医療機関名	電話番号

● 緊急ダイヤル

119：消防への火事・救急・救助の連絡
110：警察への事件・事故の連絡
118：海上の事件・事故の連絡

田辺市役所 0739-22-5300 (代表)
田辺市消防本部 0739-22-0119 (代表)
田辺警察署 0739-23-0110 (代表)

● 災害用伝言ダイヤル

伝言の録音方法

171 にダイヤル

▼ 音声ガイダンス

録音の場合 1

▼ 音声ガイダンス

被災地の人の電話番号

伝言の再生方法

171 にダイヤル

▼ 音声ガイダンス

再生の場合 2

▼ 音声ガイダンス

被災地の人の電話番号



避難情報についてもっと知ろう

避難情報			キキクル（気象庁等）		
警戒レベル / 状況	住民がとるべき行動	田辺市の情報*1	浸水キキクル 大雨警報（浸水害）の危険度分布	住民の行動の例*2	想定される周囲の状況
5 災害発生 又は 切迫	命の危険 直ちに安全確保 ▶既に安全な避難ができず、命が危険な状況。今いる場所よりも安全な場所へ直ちに移動等する。	緊急 安全確保 (田辺市が発令)	5 相当	災害切迫 (立ち退き避難がかえって危険な場合) 命の危険 直ちに身の安全を確保！	重大な浸水害が切迫。浸水害が既に発生している可能性が高い状況。

警戒レベル 4 までに必ず避難

4 災害のおそれ 高い	危険な場所から全員避難 ▶危険な場所から全員避難（立ち退き避難又は屋内安全確保）する。	避難指示 (田辺市が発令)	—	危険	周囲の状況を確認し、各自の判断で、屋内の浸水が及ばない階に移動する。	道路が一面冠水し、側溝やマンホールの場所がわからなくなるおそれがある。周囲より低い場所にある多くの家屋が、床上まで水に浸かるおそれがある。
3 災害のおそれ あり	危険な場所から高齢者等は避難 ▶高齢者等以外の人も必要に応じ、普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、自主的に避難する。	高齢者等避難 (田辺市が発令)	—	警戒	安全確保行動をとる準備が整い次第、早めの行動をとる。高齢者等は速やかに安全確保行動をとる。	側溝や下水が溢れ、道路がいつ冠水してもおかしくない。周囲より低い場所にある家屋が床上まで水に浸かるおそれがある。
2 気象状況 悪化	自らの避難行動を確認 ▶ハザードマップ等により、自宅等の災害リスクを再確認するとともに、避難情報の把握手段を再確認するなど。	—	—	注意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に注意。ただし、各自の判断で、住宅の地下室からは地上に移動し、道路のアンダーパスには近づかないようにする。	周囲より低い場所で側溝や下水が溢れ、道路が冠水するおそれがある。周囲より低い場所にある家屋が、床下まで水に浸かるおそれがある。
1 今後 気象状況 悪化の おそれ	災害への心構えを高める	—	—	今後の情報等に留意	今後の情報や周囲の状況、雨の降り方に留意。	普段と同じ状況。雨の時は、雨水が周囲より低い場所に集まる。

※1 田辺市長は、河川や雨の情報（警戒レベル相当）のほか、地域の土地利用や災害実績なども踏まえ総合的に避難情報等（警戒レベル）の発令判断をすることから、警戒レベルと警戒レベル相当情報が出るタイミングや対象地域は必ずしも一致しません。

※2 浸水キキクルに関わらず、田辺市から避難情報が発令された場合には速やかに避難行動をとること。

避難指示等が発令されたら速やかに避難行動をとる必要がありますが、突発的な災害では、発令が間に合わないこともあります。避難指示等が発令されていないなくても、警戒レベルに相当する気象情報を認識し、危険を感じたら早めに避難行動を取ってください。大切なことは「自ら判断する」ということです。

大雨特別警報

大雨特別警報は、数十年に一度の極めて激しい大雨により、重大な災害がすでに発生している、または発生が差し迫っている場合に気象庁が発表する警報です。土砂災害や河川の氾濫、広範囲の浸水など、命に関わる危険が非常に高い状況を示します。発表された場合は、警戒レベル 5 相当として、ただちに命を守る行動を取る必要があります。

記録的短時間大雨情報

数年に一度程度しか発生しないような短時間の大雨を、観測（地上の雨量計による観測）したり、解析（気象レーダーと地上の雨量計を組み合わせた分析）したりしたときに発表します。この情報は、現在の降雨がその地域にとって土砂災害や浸水害、中小河川の洪水災害の発生につながるような、稀にしか観測しない雨量であることをお知らせする情報です。

出典：気象庁ウェブサイトより編集

注）この警戒レベルの情報は 2026 年 3 月時点の情報です。内容が変更される場合には田辺市ホームページ等でお知らせします。

内水氾濫について

内水（雨水出水）氾濫とは

通常、まちに降った雨は、雨水路等を通して川へ流れていきます。しかし、川の水が増えすぎたり、潮位が高かったり、短い時間にたくさんの雨が降ったりすると、雨水路等が雨水を流しきれずについていってしまいます。

その結果、行き場を失った雨水があふれて道路や家の周りに広がることもあり、これを内水氾濫といいます。川から離れた場所でも起こるのが特徴です。



雨の強さと降り方、災害発生の目安

1時間雨量 (mm)	10以上～20未満	20以上～30未満	30以上～50未満	50以上～80未満	80以上～
予報用語	やや強い雨	強い雨	激しい雨	非常に激しい雨	猛烈な雨
人の受けるイメージ	ザーザーと降る。	どしゃ降り。	バケツをひっくり返したように降る。	滝のように降る。 (ゴーゴーと降り続く)	息苦しくなるような圧迫感がある。恐怖を感じる。
人への影響	地面からの跳ね返りで足元がぬれる。	傘をさしていてもぬれる。		傘は全く役に立たなくなる。	
屋内（木造住宅を想定）	雨の音で話し声が良く聞き取れない。	寝ている人の半数くらいが雨に気がつく。			
屋外の様子	地面一面に水たまりができる。		道路が川のようになる。	水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなる。	
車に乗っていて	-		高速走行時、車輪と路面の間に水膜が生じ、ブレーキが効かなくなる。(ハイドロプランニング現象)	車の運転は危険。	
災害発生状況	この程度の雨でも長く続く時は注意が必要。 	側溝や下水、小さな川があふれ、小規模がけ崩れが始まる。 	山崩れ、がけ崩れが起きやすくなり、危険地帯では避難の準備が必要。都市では下水管から雨水があふれる。 	都市部では地下室や地下街に雨水が流れ込む場合がある。マンホールから水が噴出する。土石流が起こりやすい。多くの災害が発生する。 	雨による大規模な災害の発生するおそれが強く、厳重な警戒が必要。 

災害情報についてもっと知ろう

防災情報の配信

▶事前に登録しておくことで、災害時に配信される防災情報を受け取れます。

防災情報の取得

▶災害時に、防災に関する情報を取得できます。



田辺市 公式 LINE



田辺市では、市に関するさまざまな情報の配信・掲載、LINE のトーク機能を活用した相談対応等のサービス提供を行い、より一層の広報活動の充実を図ることを目的に公式アカウントを開設しています。



和歌山県 防災ナビ

スマートフォンに気象情報や避難指示などの情報が通知されます。

【登録方法】

スマートフォンから二次元コードを読み込み、アプリをインストールしてください。



田辺市防災行政情報システム「防災・行政メール」

<http://bousaigyousei.aamail.aikis.jp/>

防災行政無線で放送している各種情報について、メールで配信する登録制メール配信サービスを行っています。



事前に登録しておきましょう



田辺市 公式ホームページ

<https://www.city.tanabe.lg.jp/>

田辺市に関する情報を提供しています。



地デジデータ放送による防災情報

地デジ放送のデータ放送で地域ごとの防災情報をご覧ください。

データ放送ボタン



気象庁

<https://www.jma.go.jp/jma/index.html>

全国の気象や災害に関する情報をご覧ください。



国土交通省 川の防災情報

<https://www.river.go.jp/index>

全国の河川に関する防災情報をご覧ください。



和歌山県 防災わかやま

https://www.bousai-wakayama.jp/dis_portal/

和歌山県の防災関連情報をご覧ください。



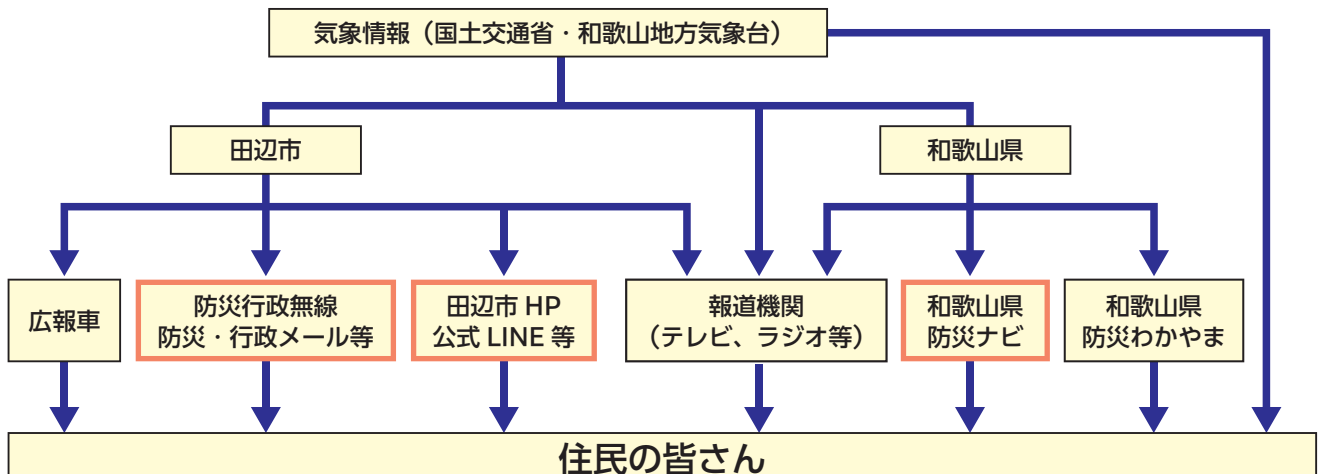
気象庁 浸水キキクル (危険度分布)

<https://www.jma.go.jp/bosai/risk/>

大雨による浸水危険度の色分け表示で、早めの避難や防災行動の判断に役立ちます。



● 防災情報の伝達経路



日頃からの備え

● 避難バッグ

非常時に速やかな避難ができるように、リュックサック等にまとめておきましょう。

食料・飲料水（最低1日分）				
<input type="checkbox"/> 飲料水 (500mlペットボトル2本)	<input type="checkbox"/> 乾パン <input type="checkbox"/> チョコレート・飴	<input type="checkbox"/> アルファ化米	<input type="checkbox"/> レトルト食品	
日用品				
<input type="checkbox"/> 携帯トイレ <input type="checkbox"/> 乾電池 <input type="checkbox"/> 防災用ヘルメット <input type="checkbox"/> 笛 <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ	<input type="checkbox"/> 懐中電灯 <input type="checkbox"/> ブランケット <input type="checkbox"/> 衣類・下着類 <input type="checkbox"/> 万能ナイフ <input type="checkbox"/> 布製ガムテープ	<input type="checkbox"/> 携帯ラジオ <input type="checkbox"/> レジャーシート <input type="checkbox"/> 洗面器具・タオル <input type="checkbox"/> 軍手 <input type="checkbox"/> マッチ・ろうそく	<input type="checkbox"/> 携帯充電器 <input type="checkbox"/> レインコート <input type="checkbox"/> 歯ブラシ・歯磨き粉 <input type="checkbox"/> ビニール袋 <input type="checkbox"/> 筆記用具	
救急・衛生用品				
<input type="checkbox"/> 消毒液 <input type="checkbox"/> マスク	<input type="checkbox"/> 包帯 <input type="checkbox"/> 常備薬	<input type="checkbox"/> 手指消毒アルコール <input type="checkbox"/> ウェットティッシュ	<input type="checkbox"/> ばんそうこう	
貴重品				
<input type="checkbox"/> 現金 <input type="checkbox"/> 証書類の写し（健康保険証、免許証、通帳、保険証書、権利書など）	<input type="checkbox"/> 鍵（家や車など）	<input type="checkbox"/> マイナンバーカード	<input type="checkbox"/> 印鑑	
その他				
<input type="checkbox"/> 眼鏡 <input type="checkbox"/> コンタクト（洗浄・保存液）	<input type="checkbox"/> おくすり手帳	<input type="checkbox"/> 新聞紙	<input type="checkbox"/> ラップ	
子どもがいる家庭				
<input type="checkbox"/> ミルク（キューブタイプ等） <input type="checkbox"/> 離乳食	<input type="checkbox"/> 子ども用紙おむつ <input type="checkbox"/> おしりふき	<input type="checkbox"/> 使い捨て哺乳瓶 <input type="checkbox"/> 抱っこひも	<input type="checkbox"/> 子どもの靴	
女性				
<input type="checkbox"/> 生理用品	<input type="checkbox"/> サニタリーショーツ	<input type="checkbox"/> おりものシート	<input type="checkbox"/> 中身の見えないごみ袋	
高齢者がいる家庭				
<input type="checkbox"/> 大人用紙おむつ <input type="checkbox"/> 補聴器	<input type="checkbox"/> 介護食 <input type="checkbox"/> 吸水パッド	<input type="checkbox"/> 杖	<input type="checkbox"/> 入れ歯・洗浄剤	

● 非常用備蓄品

災害発生後、数日間を自活できるようにお家に備えておきましょう。

普段から少し多めに食料・日用品を買っておき、使ったら使った分だけ新しく買い足していくことで、常に一定量の食料・日用品を家に備蓄しておく方法（ローリングストック）がおすすめです。

【食料・飲料水】最低3日分 できれば7日分 × 家族分				
日用品				
<input type="checkbox"/> 簡易トイレ	<input type="checkbox"/> カセットコンロ	<input type="checkbox"/> ガスボンベ	<input type="checkbox"/> ティッシュ	<input type="checkbox"/> トイレトペーパー
<input type="checkbox"/> ポリタンク	<input type="checkbox"/> ごみ袋			

※記載がある物以外にも、一人ひとり自分に必要だと思うものを考えて準備しておきましょう。

事前の準備

災害に事前に備える

いつもの暮らしの中で、もしもを考えて備えるだけで、いざという時に役立ちます。



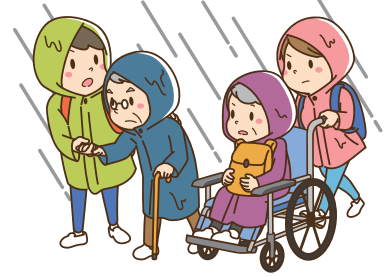
家族の取り決め

日ごろから災害が起きた時の連絡方法や子供の引き取りなどをあらかじめ家族で取り決めをしておきましょう。



地域と連携して備える

- 普段から近所と助け合える関係を作りましょう。
- 地域の避難訓練等に積極的に参加しましょう。



出典：政府広報オンラインより編集

避難行動時のポイント

正確な情報収集と早めの避難

- 雨や台風などの状況を、テレビ・ラジオ・インターネットなどで確認し、最新の気象情報や避難指示等に関する情報を入手しましょう。



防災責任者の指示に従う

- 避難の時は警察・消防・地元の防災責任者などの指示に従って行動しましょう。
- 独断での行動は危険です。



動きやすい服装と集団での避難

- 避難するときは、動きやすい格好で、2人以上での行動を心がけましょう。
- 隣近所のお年寄りや子供、病気の人の避難に協力しましょう。



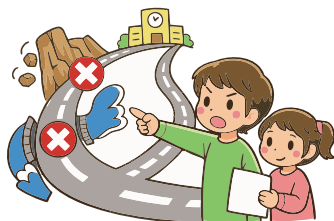
足元を確認しながら避難

- 冠水した道路は足元が見えないため危険です。
- 道路の端を通らないようにし、傘や長い棒などで足元を確認しながら進みましょう。



安全な避難経路の確認

- 避難所などへの経路は、あらかじめ自分たちで決めておき、安全に通行できるかを確認しておきましょう。



非常持ち出し袋を忘れずに

- 非常持ち出し袋を準備し、持ち出しやすい場所に置いておきましょう。



避難に自動車を使わない

- 自動車が水に浸かると動かなくなったり、水圧で扉が開かなくなったりして大変危険です。自動車での避難は特別な場合を除きやめましょう。



川や用水路を見に行かない

- 大雨の時に、川や用水路の様子を見に行ったことで流されるおそれがあります。大雨時には絶対に川や用水路を見に行くことはやめましょう。



出典：国土交通省ウェブサイトより編集